

沖縄総合事務局 開発建設部 総合評価審査委員会(営繕系)  
議事概要

開催日及び場所	平成22年10月4日(月) 沖縄総合事務局 2階 共用会議室C	
委 員	委員長 浦辺 信一 (開発建設部長) 副委員長 松村 高俊 (営繕調査官) 委 員 堤 純一郎 (琉球大学教授) 委 員 渡嘉敷 健 (琉球大学准教授) 欠席 委 員 磯野 良樹 (管理課長) 委 員 平良 正光 (技術管理課長) 欠席 委 員 田阪 昭彦 (営繕課長) 欠席 委 員 清水 修 (営繕監督保全室長)	
対象案件	総件数 4 件	(備考)
高度技術提案型	0 件	
WTO標準型	0 件	
標準 型	0 件	
標準 型	1 件	
簡易型	3 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審査結果の内容	上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回答
<p><b>審査対象案件</b></p> <p>1. 標準 型総合評価方式</p> <p>1 那覇港湾合同庁舎(22)エレベータ設備改修工事</p> <p>2. 簡易型総合評価方式</p> <p>1 沖縄地区税関(22)建築改修工事</p> <p>2 宮古公共職安(22)電気設備改修工事</p> <p>3 宮古職安(22)電気設備改修工事</p> <p><b>抽出審議</b></p> <p>那覇港湾合同庁舎(22)エレベータ設備改修工事</p> <p>施工計画において、誘導員の配置を評価する場合の基準について整理すること。</p> <p>県内企業下請活用比率評価で、5点配点(30%以上)は達成可能なのか。</p> <p>沖縄地区税関(22)建築改修工事</p> <p>入札説明書には全ての工種が記載されていないので、工事内容が判りづらいのではないか。</p> <p>宮古職安(22)電気設備改修工事</p> <p>コリンズでの実績検索にてC等級が県内97者いるのに、前回なぜ応募者がいなかつたのか。</p> <p>応募者がいない状況を改善するには、要件を緩和すべきではないか。</p> <p>広報には問題ないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘導員の配置については評価基準を整理し、評価がばらつかないようにする。</li> <li>各者の下請活用予定について説明。下請けとして撤去工事・据付工事を予定している。</li> <li>営繕事業では、工事内容を把握してもらうために資料を配布することとし、この案件では、公告時に特記仕様書1枚と一般図3枚を公開している。</li> <li>97者のうち、宮古島所在の業者は2者である。本島の業者は、地理的に不利な宮古島の案件には応募しないのではないか。</li> <li>発注時期が遅れると技術者の確保が難しくなるので、技術者の要件(施工経験)を緩和した。企業の要件(施工実績)は、前回と同じである。</li> <li>誰もがインターネットで情報収集が可能。又、業界紙でも情報収集ができる。この案件は、沖縄総合事務局平良港湾事務所にも掲示している。</li> </ul>